

奄美地域向け秋スプレーギクの有望品種「きゅらメーレ」

奄美地域の気象条件に適応性が高い薄桃色の秋スプレーギク新品種の育成

背景・目的

- ・奄美地域の秋スプレーギクは、冬春季に露地や平張施設で栽培されている。
- ・民間で育成された秋スプレーギク新品種を奄美地域で栽培すると草丈の伸長不良や開花遅延などが見られる。
- ・そこで奄美地域の気象条件に適応性の高い優良品種を育成する。

成果の内容

奄美地域の気象条件に適応性の高い薄桃色の「きゅらメーレ」の育成

【交配】

○奄美地域の気象条件に適応性の高い系統「22TAS47-2」を選定し、この系統を交配親に用いた育種の開始



きゅらメーレの草姿

【花色】

○薄桃色で緑心，低温期でも花色は安定

→今までのきゅらシリーズにはない花色

【開花特性】

○2, 3月開花での到花日数は約8週

○低温伸長性あり

【採穂性】

○採穂数は多く，高温期でも安定して採れる

→奄美地域の気象条件に適応性の高い特性

導入メリット



「きゅら」シリーズのラインナップ

- ・きゅらメーレの育成により，市場から要望の高い花色（白色，桃色，黄色）を，きゅらシリーズでカバーできる。
- ・きゅらシリーズの栽培で，安定した切り花生産による計画出荷が可能となる。



市場の要望に対して貢献できる産地体制の強化

期待される効果

・きゅらシリーズの栽培で高品質切り花生産および有利販売の実現。

普及対象・範囲

奄美地域の秋スプレーギク生産農家20戸